



平成28年度の植栽個所についてお知らせします。

「光城山1000人SAKURAプロジェクト」では、本年度（平成28年度）の植栽個所について検討を進めてきました。本年度は60本の桜（樹種：神代曙※じんだいあけぼの）を11月末頃に植樹します。植栽を予定する個所は、登山道の中腹より若干下った場所になり、目印としてイボ竹を設置してあります。登山者の皆様にご迷惑をおかけすることもございますが、ご理解、ご協力をよろしく願いたします。



↑ 植栽予定か所の目印

「神代曙（じんだいあけぼの）」とは？

「神代曙（じんだいあけぼの）」は、東京都府中市の神代植物公園で栽培されているソメイヨシノ系の品種です。

プロジェクトでは平成26年度に数種類の品種で、試験的に60本の桜を植栽しました。検討の結果、光城山の桜開花の魅力の一つである「昇り竜」を維持していくことを目的として、標高ごとに開花時期が揃うよう、ソメイヨシノ系の品種で統一することになりました。

中でも、「神代曙」は、比較的ソメイヨシノの持病であるテングス病にかかりにくく、寿命がやや長いとされていることから、プロジェクトでは、神代曙を選定し、植樹を進めています。



本年度の植栽に向けて、桜の生育に必要な日光を遮る支障木等の伐採作業が始まります。9月から10月上旬の間で実施する予定です。作業に伴い、登山者の皆様には大変ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をよろしく願いたします。

お知らせ



市内でも所処で見られる栗の木。しかし、光城山にはあまり見られません。実はその昔、山の神と云われる天狗が山の散策中に転んで、栗のイガが目差したとのこと。災難があつてはいけなさとそれ以来、光城山には栗の木が少なくなつたそうなの…。光城山周辺に残る、昔話や逸話、生活等、ご存じの方は下記までご連絡下さい。

光城山周辺には、様々な逸話が残されています。その一部を回を分けて掲載します。

光城山周辺地域の逸話 その1
光城山に栗の木が少ないわけ